

郷土の川をいつまでも美しく・・・



～誰でも参加できる地域づくりを目指して～

第201回 サポートセンターの日 発表団体

■特定非営利活動法人則松金山川コスモス会 理事長 田仲 常郎氏

八幡西区を流れる“金山川”の則松地区の流域、両岸約3.5kmに広がる「則松金山川花のボランティア公園」に様々な花を植え、美しく咲かせる活動を35年にわたり続けています。

春には「チューリップ」と「桜」、秋には「コスモス」「ヒマワリ」「アメジストセージ」が咲き誇り、多くの人々の目と鼻を楽しませ、心を和ませてくれます。最も花が美しい時期に毎年開催している「チューリップまつり」「コスモスまつり」は、季節を告げる風物詩となっており、地域住民のほか、約2万人が参加する八幡西区を代表する催しに成長しました。

こうした長年の活動が評価され、本年4月、内閣府より「緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞しました。“やりがい”“生きがい”を感じながら、“健康づくり”にも役立つ、誰でも気軽にできる社会貢献。一緒に活動してくれる方、まずは軍手を持って長靴で公園へ！いつでも大歓迎です！！

<http://t-cosmos.net/>



洪水のまちから花咲くまちへ



石炭採掘の影響から地盤沈下のある八幡西区則松地区では、“金山川”は平面地よりも川底が高い天井川となっており、以前は、大雨が降るとたびたび氾濫し、周辺の住宅や田畑に大きな被害を与えていました。そのため、地域住民が一丸となって、護岸改修工事を訴え続けた結果、37年前の昭和57年に改修工事が着工され、2年後、現在の形状となりました。そうした中、生まれ変わった地域は、住民自身で守りたい、そして誰もが気軽に立ち寄れる美しい場所にしたいとの前理事長の提案で、護岸に花を植える植栽ボランティアグループを結成。以降、桜やコスモスなど様々な花を植え、花咲くまちづくりに取り組んできました。平成16年にはNPO法人化し、地域に支え、育てられながら、活動の幅を広げています。



和太鼓も披露されるチューリップまつり



継続することの難しさ

「則松金山川花のボランティア公園」は、今では花の名所として認識されていますが、そこに至るまでには様々な苦労がありました。まずは資金面。球根の購入費用だけでも年間で200万円以上かかります。資金面で応援してくれるサポーター制度(会費:月500円)を設けたり、月2回の朝市での売上を増やすため、休耕田を活用し、自然薯や落花生を栽培したこともあります。また、花は毎日愛情を注いであげないと綺麗な姿を見せてくれません。定期的な草刈りや堆肥づくりなど日々の地道な作業が欠かせませんが、メンバーの高齢化等により活動者が減少し、活動が滞る時期もありました。

それらを乗り越えてこられたのは、様々なチャレンジ精神。無農薬を目指した合鴨やアヒルの放流、堆肥を自家生産するためのコンポストの設置など、中には失敗したこともありますが、活動が続けられるよう頑張ってきました。



公園内のコンポスト

花づくりは地域づくり



コスモス会の目的は、美しい花公園を作るだけではありません。花づくりを通じて、地域住民、特に仕事をリタイアした高齢者の方が、仲間を見つけ、社会とのつながりを実感できる場を提供していきたい。そして、地域の子どもから高齢者まで多くの世代を巻き込んだ活動にしていきたいと考えています。

これまで、こうした考え方に賛同した多くの高齢者の方が活動に加わってくれました。また、地域の幼稚園児、高校の野球部の生徒等が草刈り等を手伝ってくれることもあります。活動終了後には、豚汁かカレーライスを食べながら、親睦を図ります。

花づくりは地域づくり。多くの世代の関わりの中で、花づくりとともに、より良い地域を作っていきたいと考えています。



球根の植え付け作業



活動後の親睦会

高齢化や核家族化などで住民間の交流が希薄になり、自発的なつながりが難しくなっている昨今、多世代が交流できるこうした活動はとても重要だと思えます。応援の仕方は様々。活動に参加できなくても、寄付という方法もあります。地域に寄り添う地道な活動を、ぜひ応援してあげてください！



助成金情報



助成制度名	分野	実施主体	締切
令和2年度「花博自然環境助成」	環境	公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会	9/13
令和元年度(第26回)ボランティア活動助成	ボランティア	公益財団法人大和証券福祉財団	9/15
第4回未来応援ネットワーク事業	子ども	独立行政法人福祉医療機構 NPO リソースセンター	9/20
三井物産環境基金 2019年度活動助成	環境	三井物産株式会社サステナビリティ経営推進部	9/24
重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成	子ども	公益財団法人ベネッセこども基金	9/25

※当センターの助成金コーナーに紙ベースでの情報を設置しています。
また、ホームページ〈キラキラネット〉の「助成金情報」にも掲載しています。

令和元年度 NPO 公益活動支援事業 補助金採択事業が決定!

事業名	団体名
リーシュアートコレクション2019in 足立 法人化10周年記念特別企画ワークショップ「ぼくらのヒミツのまちをつくろう」事業	特定非営利活動法人 ねぎぼうずの里
イキイキ笑いのひろば	イキイキ笑いのひろば
明るい長寿社会を目指して	NPO 法人 老いを支える北九州家族の会
歩行解析及び補正・強化の指導事業	NPO 法人 北九州ウォーキング協会
「歩きたくなるまちづくり 自然の韻(うた)が聞こえる庭づくり」活動	特定非営利活動法人 オープンガーデン北九州
キッズチャレンジキャラバン	特定非営利活動法人クライス
小倉発祥焼うどん 店舗マップ作成事業	小倉焼うどん研究所
コーラスを愉しんで～北九州をうたう会	北九州をうたう会
SDGs みちくさキャラバン 親子で学ぶ0歳からの環境教育	特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所
「パトランハンドブック(仮称)」作成等事業	NPO 法人 日本ソーシャルスポレク協会
第4回グランドシニアシャレトーネショウ IN 北九州	グランドシニアシャレトーネショウ 実行委員会



NPO 法人・設立申請状況 (令和元年7月31日現在)



★北九州市内のNPO法人数：323団体 (※市内に主たる事務所を置くNPO法人数)

★設立認証申請中の団体

現在設立認証申請中の団体はありません。



サポートセンター主催のセミナーなどの情報（無料・要予約）



税理士相談会 (会計や税務に関する相談)	NPO入門説明会 (NPO法人設立の準備を始めた方向け)
9/11(水) 16:00~21:00 9/25(水) 10:00~16:00	9/11(水) 19:00~20:00 9/25(水) 19:00~20:00

◆9月サポートセンターの日・NPO活動発表会◆

北九州 de 日本みつばちプロジェクト
知って納得！
ニホンミツバチの不思議な世界



日時：9月26日(木) 18時30分~20時

発表：NPO法人グリーンワーク

理事長 舛本 哲也氏

小さなミツバチの持つ大きな役割や蜂蜜の食べ比べなど、ミツバチを通して環境も知ることが出来る発表です。

◆10月サポートセンターの日・NPO活動発表会◆

ランドセルに夢と希望を込めて
ミャンマーの子どもたちへ



日時：10月24日(木) 18時30分~20時

発表：Dream Randosel(ドリームランドセル)

代表 井上 吉子氏

ミャンマーの子どもたちへ日本で使われなくなったランドセルを届ける活動をしている団体です。



NPO法人向けセミナー
(要予約)

NPO法人運営のABC

NPO法人を運営するにあたり、最低限知っておきたい会計・税務について、分かりやすく説明します。

- 日時 8月28日(水) 18:00~19:15
- 講師 熊谷 朱江子氏(九州北部税理士会所属税理士)



※当セミナーに先立ち、17:15~約30分間、福岡法務局北九州支局の方による

NPO法人の登記上の注意点についてのお話があります。

NPO・市民活動の相談窓口

◆北九州市市民活動サポートセンター

TEL: 093-645-3101

FAX: 093-645-3102

開館時間：月~土 10:00~21:00

日・祝 10:00~19:00

(毎月第1・3・5月曜日及び年末・年始は休館日)

北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3F

HP(キラキラネット) <http://www.kirakirakitaq.jp>

メールアドレス support3@axel.ocn.ne.jp



QRコード

編集後記

親戚が集う機会の多い夏でした。ワイワイ遊んでいた私たちが親となり、その子どもたちがバタバタと走りまわります。年上の子が「座って食べる！」と幼児たちをたしなめるのを、微笑ましく眺めていました。

by うらら